

県政特集-1 都市と農村の交流



都市と農村のふれあいが新しい元気がうまれる

上河内町では、今年から松田地区で「もち」今里地区で「ゆず」のオーナー制度に取り組んでいます。これは、都市と農村との交流をすすめるため県が実施している「市町村ふれあいの郷づくり事業」を活用したもので、昨年からの地区住民で実行委員会をつくり、交流のアイデアを出し合いました。

松田地区の古橋会長は「はじめは不安や反対の声もありました。何もないところだと思っただけから。でも、おいしいお米のできる田んぼがあり、つくる技術もある。これを生かしてみよう」と、もちの里「づくり」のきっかけを話します。

また、「ゆずの里」づくりをすすめる今里地区の笹沼会長は「今里には羽黒山があり、梵天ゆずの民話や梵天祭の歴史と文化がある。地域の名所を掘り起こして、多くの人に楽しんでもらえたら」と話します。

五月には松田地区で「もちのオーナー」による田植えといちご狩りが、六月には今里地区で「ゆずのオーナー」によるゆずの木抽選会とじゃがいも掘りが行われました。どちらも宇都

廃校が体験交流施設へ 里山はみんなの学校

「塩谷町やすらぎの体験交流施設」は、小学校の廃校舎を活用し、体験学習のできる宿泊施設として今年四月にオープンしました。愛称は「星ふる学校」



どろんこになりながら昔ながらの方法で田植えを体験

宮市を中心に、県内外から家族づれの参加者でにぎわいました。東京から参加した小学生は「田植えは初めて。べちゃべちゃして気持ち悪いけど、楽しい」と感想を話してくれました。

上河内町産業課では「参加者に喜んでもらえたことが、地域の自信とやる気につながっています。これをきっかけに地域がさらに元気になってほしい」と期待を寄せています。



講師から鳥や植物について説明を聞く参加者 自然への理解が深まりました

まの木」。学校跡地から観測したデータが「星がよく見える場所調査（平成十二年度）で全国トップクラスに選ばれたことからつけられました。

「くまの木」では、天体観測や小川の生き物調べ、田植えやそば打ちなど、地元講師の案内で里山の自然や文化などを体験することが出来ます。神奈川県から来た大学生は「ボードウォーキングに参加。双眼鏡をのぞき様々な鳥の鳴き声も楽しみました。また夜はホテルの観察会へと、自然を満喫。「ふだん見過ごしている草花や生きものなどを再発見した感じがします」と参加者は話します。

塩谷町では、「くまの木」を拠点に都市住民との交流の輪を広げたいとしています。

◇問合せ 県農村振興室
TEL 028-623-1233

とちぎの「味緑」をもっと多くの人に

自然豊かな農村空間が身近に広がる栃木県。農業・農村は私たちの大切な食を支えるだけでなく、自然環境の保全や地域文化の伝承などの役割を果たしています。

県では、そのすばらしさをもっと多くの方に知っていただくため、地域の食や緑を生かした交流施設の整備、農業観光情報の提供などに積極的に取り組んでいます。都市住民の皆さんに、農村の自然や人とのふれあいをとおして、農業・農村への理解や関心を深めていただきたいと思います。

皆さんも、すぐそこにある「とちぎ」の農村を訪ねて、新たな味緑（みりよく）を発見してみませんか。



星ふる学校「くまの木」
塩谷町大字熊ノ木802
☎0287-45-0061

T O C H I G I

県民だより

7

2002
月号

編集・発行 栃木県広報課
平成14年7月14日発行

〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20
TEL 028-623-2192 FAX 028-623-2160
栃木県のホームページ <http://www.pref.tochigi.jp/>

栃木県の人口 [6月1日現在]

2,008,177人 (前月比 +665人、前年同月比 +1,870人)
◎男997,068人 ◎女1,011,109人 ◎世帯数683,925世帯

**農村へでかけよう
すぐそこにある
やすらぎの空間**

農村地域は、新鮮な食材やこころやすらぐ田園風景、おいしい水、きれいな空気など様々な魅力にあふれています。県では、こうした農村の魅力を生かし、都市と農村とが気軽にふれあえる交流活動をすすめています。



ホテル観察会(塩谷町)
昼間はホテルのすめる環境についても学習
農村のきれいな水とカワナがホテルを育てます

もっと知りたい! 「とちぎ」の農業・農村のこと

- ◆「食と農のサポーター」募集中!◆
- サポーターの方には、新鮮・安心・安全な県産農産物の情報や、各種イベント等の情報をお送りします。ぜひ、「とちぎ」の農業・農村の応援団になってください
 - 応募資格 18歳以上の個人や団体
 - 応募方法 所定の応募用紙に必要事項を記入の上、郵送、FAX、Eメールで、県農政課へお送りください
 - 応募締切 10月31日(木)
 - 問合せ 県農政課 ☎028-623-2284

- ◆農業観光情報を皆さんへ◆
- 県ホームページ (<http://www.pref.tochigi.jp/>) や「食と農の相談室」では、観光農園や農産物直売所、農村レストランなどの農業観光情報を提供しています
 - 「食と農の相談室」は県農政課、各農業振興事務所内にあります。お気軽にご利用ください

新県庁舎整備について お知らせします

新しい県庁舎の整備について、庁舎の配置や今後の整備スケジュールなど基本的な事項がまとまりました。

様々な角度から検討しました

県では昨年四月から、それまでですべてきた「新県庁舎整備計画」について、見直し検討を行いました。

見直しに当たっては、庁舎の耐年度調査を実施したほか、有識者や公募委員十八名で構成する「県庁舎整備計画見直し検討会議」を設置し、建て替えの必要性など整備の基本的な事項や本館の文化的価値、宇都宮中心市街地活性化への影響など、様々な角度から検討しました。

これらの結果や県民の皆さんから寄せられた数多くのご意見などを参考に、総合的に見直しを行いました。そして、県議会との協議の結果、昨年十二月、「県庁本館の一部を敷地内に移築した上で、県庁舎を全面的に建て替える」という考え方を決定しました。県では、この考え方に基

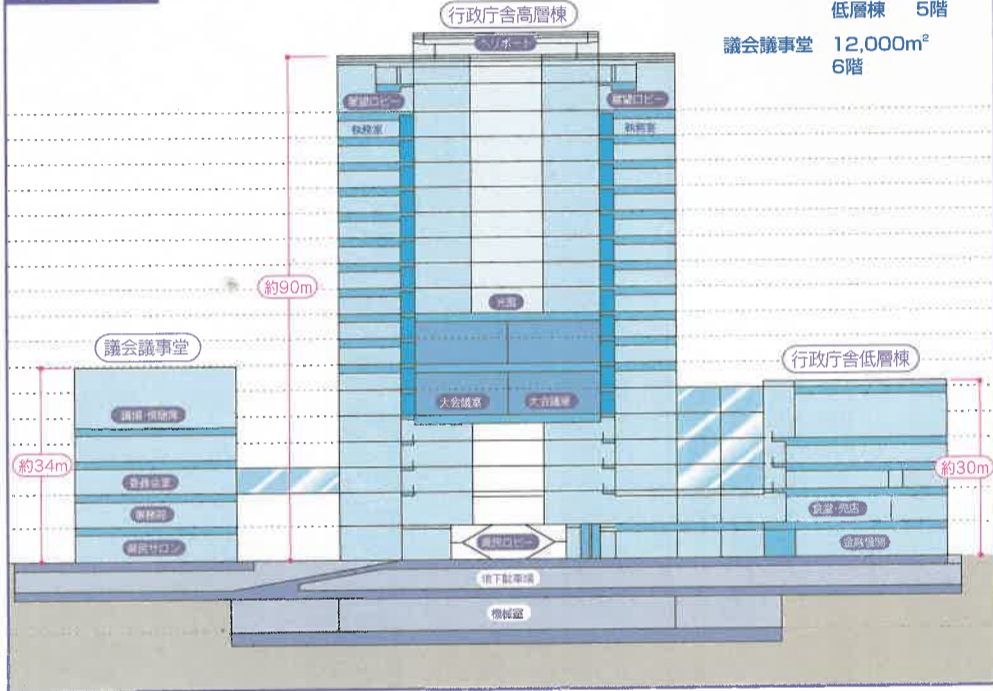
整備スケジュール



新県庁舎配置図



新県庁舎東西断面図



配置と基本構成

新県庁舎は、緑地の確保や北側に隣接する警察庁舎との連携を考慮し、現在よりも敷地の

環境に十分配慮した庁舎

資源のリサイクルや省エネルギーの推進、さらに太陽光発電など新エネルギーの導入に努めます。また、周辺環境にも十分に配慮したいと考えています。

分に対応できる庁舎をつくりたいと考えています。



北寄りに配置します。議会議事堂は西側に、行政庁舎は東側に配置。高さは行政庁舎が十八階、議会議事堂は六階を予定しています。なお、東館（文書館）は現状のまま利用します。

平成十九年度完成を予定

新県庁舎の整備は、平成十九年度に建設工事に着手し、平成十九年度の完成を予定しています。

工事期間中は、仮庁舎に移転することとなります。仮庁舎の配置・移転時期等については改めてお知らせします。

◇問合せ 県庁舎整備室
TEL 028-623312083

●県庁舎整備についての概要は、県ホームページ <http://www.pref.tochigi.jp/> 県庁舎整備室のページでもご覧いただけます。

県政トピックス

Topics 1 益子の森で自然にふれよう

益子県立自然公園・益子の森は、里山林に全長四キロの遊歩道や広場、親子で楽しめるトリム施設などが整備された公園です。

四月には無料休憩室や展示室を備えた拠点施設「フォレスト益子」がオープンしました。ここにはレストランや宿泊施設「七月二十日オープン」も併設。思い思いに楽しんでいただけます。



●フォレスト益子
益子町大字益子字道祖土 ☎0285-70-3305
開館時間 9:00～16:30（水曜日休館）

Topics 3 知事、フランスとノルウェーを訪問

福田知事は六月十九日から二十六日までフランス・ヴォークリューズ県とノルウェーを訪問しました。本県の友好交流先であるヴォークリューズ県では、県議会議長と懇談。今後さらに幅広い分野で交流を深めていくことを確認しました。

また、ノルウェーでは、男女平等センターと高齢者福祉センターを視察しました。



オー議長から記念として「ヴォークリューズ古地図」を受けとる知事

Topics 4 とちぎの花を世界に紹介

オランダで開かれている国際園芸博覧会において、五月二十五日から六月七日まで栃木県が特別展示を行いました。この博覧会は十年に一回開催される世界有数の園芸博覧会です。コンテラストでは、県内の生産者が出品した花が鉢物部門で上位を独占しました。

「受賞者の皆さん」
谷田部元照さん・海老原廣さん（アジサイ）、豊田勝義さん・高橋進さん（さつき）、斎藤英夫さん（洋らん）



県の出展コーナーも「総合アレンジ・ブース部門」で金賞を受賞しました

Topics 2 学生と企業が面接会

来春卒業予定の大学生や短大生などを対象にした「とちぎ求人企業合同面接会」が六月二十七日、マロニエプラザ（宇都宮市）で開催されました。この日は百六十一社の企業と千三百人を越える学生が集まり、会場は熱気に包まれました。



学生は真剣な表情で自己PRをしたり説明を聞いたりしました

県ホームページ

動画で「とちぎ」の今を届けます 「とちぎインターネット放送局」開局!

この放送局では音声や動画を活用して、魅力にあふれた私たちの郷土「とちぎ」の姿や県政の今をわかりやすく伝えていきます。

●「とちぎ」の魅力を届ける

「とちぎ探訪」

県内の観光情報や本県の魅力を紹介するコーナー。県内だけでなく、県外の方に向けて「とちぎ」の情報を発信しています。



銅色の渓谷列車（足尾町）
車窓からの景色などをお楽しみいただけます

●知事のフリートーク

「福田昭夫の心田開話」

福田知事が県政経営についての考えをわかりやすくお話しします。

●県政の今がわかる「県政フラッシュ」

イベントなど、最近の県政の動きをコンパクトに伝えます。

アドレスは <http://www.pref.tochigi.jp/tib/>



「生きる・まなぶ」～のびやかな「とちぎ人」～
 ◆心おほらかな人づくり ◆開かれたコミュニティづくり ◆世界にはばたく人づくり

「うみだす・活かす」～明日を拓く産業・行政～
 ◆とちぎの原動力づくり ◆協働のシステムづくり ◆創造の風土づくり

「楽しむ・ふれあう」～夢ときめく交流社会～
 ◆にぎわいの舞台づくり ◆助け合いのパートナーシップづくり ◆とちぎの風おこし

「つちかう・伝える」～未来にひきつく郷土～
 ◆魅力きらめく空間づくり ◆出会いのネットワークづくり ◆みんなを育む環境づくり

“自”(みずから)を
みかく
いまから明日へ
自立・自助の礎を
築くために

“絆”(きずな)を
つなぐ
わたしからみんなへ
互助・協調のネットを
織りなすために

“風”(かぜ)を
おこす
ここから世界へ
さらなる夢と希望を
実現するために

“とちぎ”づくりの行動指針

未来像実現のための基本理念
分 度 推 議

◆「とちぎ将来構想(仮称)第一次素案」へのご意見はこちらへ

- ご意見は郵送、FAX、電子メールでお送りください
- ※下欄のアクセス用紙をご利用になる場合は、テーマ欄に「とちぎ将来構想(仮称)について」と明記してください
- 募集期間 7月15日(月)～8月14日(水)
- あて 先 県企画調整課(〒320-8501※住所記入不要) FAX028-650-2045、E-mail newvision@pref.tochigi.jp

※県のホームページ(<http://www.pref.tochigi.jp/>)では、「とちぎ将来構想(仮称)第一次素案」のほか、懇談会の開催状況など様々な情報がご覧いただけます

◇問合せ 県企画調整課
 TEL 028-623-3122 206

「第二次素案」の概要

「とちぎ将来構想(仮称)第一次素案」は、郷土「とちぎ」のあるべき姿を描く第一部「とちぎの将来展望」と、その実現のため

「とちぎ」づくりの行動指針を、市町村や各種団体、企業、県民の皆さんにも一緒に将来の「とちぎ」づくりに取り組んでいただくとうと、次の三つの行動指針をかかげています。

長期ビジョン 「とちぎ将来構想(仮称)」を策定しています

今、私たちの社会は、少子高齢化、環境問題、国際化、IT化の急速な進展、地方分権の推進など大きな転換期を迎えています。

私たちのふるさと「とちぎ」を、よりよいものとして次の世代に引き継いでいくためには、今を生きる私たちが、長期的な視点を持ち、これから予想される様々な課題に適切に対応していくことが必要です。

県では、経済や人の活力、自然や心の美しさなど多様な魅力にあふれる郷土「とちぎ」をつくるための長期的な戦略「とちぎ将来構想(仮称)」を策定しています。

このたび、「とちぎ将来構想(仮称)第一次素案」を作成しましたのでお知らせします。

め県はどんなことに力を入れていくのかを示す第二部「県政の取組方向の骨子」で構成されています。

基本理念と三つの行動指針

第一部では、今後予想される時代の潮流や本県を取り巻く社会の変化について分析。また県の現状や特性、今後伸ばしていくべき優位性や強み、今後の課題などを検討しています。

その上で、本県の将来像を「活力と美しさに満ちた郷土「とちぎ」として、郷土づくりをすすめることにしています。

また、自立、自助、さらに互助による幸福の追求である「分度推議」を郷土づくりの基本理念とし、これに基づく郷土づくり「分度推議立案」を推進していくこととしました。

そして、市町村や各種団体、企業、県民の皆さんにも一緒に将来の「とちぎ」づくりに取り組んでいただくとうと、次の三つの行動指針をかかげています。

第二部では、第一部で設定した将来像や「とちぎ」づくりの理念に基づいて郷土づくりに取り組んでいくため、次のとおり「とちぎ」づくりの戦略テーマを設定しています。

戦略テーマ

- ①「自(みずから)をみかく」
- ②「絆(きずな)をつなぐ」
- ③「風(かぜ)をおこす」

この戦略テーマは、「とちぎ」の活力をつくりだしている人々のくらしと社会、そして自然の様々な「いとなみ」を四つの側面からとらえたものです。

なお、この第一次素案では、第二部の骨子のみお示ししていますが、今後さらに、この戦略テーマに「とちぎ」づくりの行動指針を適用して、具体的な政策づくりをしていくことにしています。

みなさんの描く「とちぎ」を教えてください

「とちぎ将来構想(仮称)」の策定に当たっては、多くの県民の皆さんからのご意見やご提言をいただきながら、よりよい構想づくりをしていきたいと考えています。

第一次素案の内容は、県情報公開相談室、各県民センター及び県ホームページでご覧いただけますので、こんな栃木県であってほしい、こんな取り組みをすすめてほしいなど、ぜひ皆さんのご意見をお寄せください。

なお、十二月には、第二部の詳細を含む第二次素案をお示しし、構想を決定していく予定です。



のりしろ

知事にアクセス

テーマ

のりしろ

のりしろ

のりしろ

◎県政に関するご提案等をこの用紙でお寄せください。

〒□□□-□□□□

ご住所

お名前 男・女 歳

ご職業

☎ ()

◇問合せ 県広報課 ☎028-623-2158

あなたの声を聴かせたいから

県民の皆さまからご提案・ご意見をお聴きする「知事にアクセス」を実施しております。

県政に関することでしたら、どんなことでも結構です。この用紙で皆さまの声を寄せてください。

お寄せいただいたご提案・ご意見は私が読ませていただき、今後の県政に反映していきたいと考えております。

皆さまからのお便りをお待ちしております。

栃木県知事 福田昭夫



花時記
キキョウ (キキョウ科)
 茂木町の町花。野草にはあまりにも大輪で鮮やかな紫色の花を咲かせるため、人工栽培されています。根からは喉の炎症を抑える生薬(サボニン)が得られ、のど飴や医薬品に利用されています。

ウォッチングポイント
 野生の花は荒地や草原に見られますがまれです。見頃は7月中旬から8月いっぱい。白花もあります。



海浜まつり



●地引き網体験、大釜料理などを楽しめます。施設内も開放します。
 ●7月20日(土)午前10時～
 ●問合せ とちぎ海浜自然の家 茨城県旭村玉田336-2 ☎0291-37-4004

日光自然博物館の催し

●涼風ハイキング
 ●夏でも涼しい中禅寺湖畔をハイキングします。主に家族向けです。
 ●8月4日(日)午前10時～
 ●参加費 大人900円 子ども450円
 ●定員 20名程度
 ●募集締切 7月22日(月)必着

●さわやか朝顔観察会
 ●8月11日(日)～18日(日)
 毎日午前6時30分～
 ●問合せ 日光自然博物館 日光市中宮祠2480-1 ☎0288-55-0880

わんぱくわくわく探検隊・夏の陣

●キャンプ、魚つかみ、ハイキングなどを行います。
 ●8月17日(土)～18日(日)1泊2日
 ●場所 出流ふれあいの森(栃木市)
 ●対象 小学3年生～高校生
 ●参加費 4,000円
 ●定員 50名(先着順)
 ●問合せ 太平少年自然の家 栃木市平井町638 ☎0282-24-8551

県民の森「森の集い」

●草木染めを行います。家族やグループでご参加ください。
 ●8月24日(土)～25日(日)1泊2日
 ●参加費 テント使用料のみ負担
 ●定員 30名(先着順)
 ●募集期間 7月15日(月)～31日(水)
 ●問合せ 県民の森管理事務所 矢板市長井2927 ☎0287-43-0479

なかがわ水遊園の催し

●夏の特別展「ほくら水辺の探検隊」
 ●水の中をのぞいて、生き物観察。ザリガニ釣りもできます。
 ●期間 7月16日(火)～9月1日(日)
 ●夏休みお魚宿題相談
 ●7月20日～8月31日の土・日曜日午後0時30分～2時30分
 ●問合せ なかがわ水遊園 湯津上村佐良土2686 ☎0287-98-3055

文化情報 子ども総合科学館
 宇都宮市西川田町567 ☎028-659-5555

●第41回企画展「からくり人形大集合」
 ●ふしぎなからくりの世界を楽しもう
 ●あそぼう工房 夏休み企画「大工さんになりたい!!」 ●大工さんの道具で造形遊びを体験しよう
 ●いずれも7月20日(土)～9月1日(日)

文化情報 県立美術館
 宇都宮市桜4-2-7 ☎028-621-3566

●常設展:テーマ展示「美術のなかの動物たち」 ●7月28日(日)まで ●当館の収蔵品から、動物が描かれた作品を展示します
 石川寒巖「子牛」

文化情報 県立博物館
 宇都宮市睦町2-2 ☎028-634-1312

●開館20周年記念企画展「那須の自然」
 ●7月20日(土)～9月29日(日) ●那須地域の変化に富む地形・地質や動植物を紹介
 ●記念講演会 ●7月28日(日)午後1時30分～4時 ●定員 200名 ●電話申込み

文化情報 県総合文化センター
 宇都宮市本町1-8 ☎028-643-1010

●PMFオーケストラ特別演奏会 ●7月24日(水)午後7時開演 ●指揮/シャルル・デュトワ、ピアノ/マルタ・アルゲリッチ ●チケット発売中
 ●市村正親「海の上のピアニスト」 ●8月4日(日)午後5時開演 ●チケット発売中

栃木県のお知らせ

募集

●「知事と話してみませんか」

「とちぎふるさとづくりフォーラム」参加者募集
 ●くらしのこと、福祉のこと、これからのとちぎのこと、どんな話題でも結構です。お気軽にご参加ください ●8月25日(日)午後1時30分～ ●会場 小山グランドホテル ●対象 県内に在住、通勤・通学している満18歳以上の方 ●申込み 氏名・住所・年齢・電話番号・性別・職業(学校名)・託児の希望の有無を電話、ハガキ、FAX、Eメールで ●応募締切 8月9日(金)消印有効 ●応募多数の場合は抽選 ●県広報課(〒320-8501 ※住所記入不要) ☎028-623-2158、FAX028-623-2160、Ekocho@pref.tochigi.jp

●「新しい高校づくりフォーラムとちぎ」参加者募集

●中高一貫教育、男女共学・別学など様々なテーマについてご意見・ご提案を伺います。ぜひご参加下さい ●7月27日から8月11日の土・日曜日(1回2時間) ●会場 県総合教育センター(宇都宮市)ほか県内6会場 ●詳しくは問合せを ●県教育委員会総務課 ☎028-623-3364

●国会等移転「那須地域」親子見学会の参加者募集

●①7月26日(金)午前9時県庁出発 ●8月1日(木)午前8時30分下都賀庁舎(栃木市)出発 ●8月30日(金)午前8時30分芳賀庁舎(真岡市)出発 ●見学会 那須野原公園、県酪農試験場(乳搾り)ほか ●参加費 大人1,000円、子ども800円 ●定員 各40名 ●応募方法 希望日・住所・氏名・年齢・電話番号を記入しハガキ、ファックスで ●応募締切 ①②7月19日(金)、③8月16日(金)消印有効 ●栃木県国会等移転促進県民会議事務局(〒320-8501 ※住所記入不要) ☎028-623-3496、FAX028-650-2045

●「統計グラフ栃木県コンクール」作品募集

●内容 統計グラフの作品(B2版) ●対象 小学生以上の方 ●応募締切 9月4日(水)必着 ●県統計課 ☎028-623-2242

●「フェスタinパルティ2002」参加者募集

●11月16日(土)・17日(日) ●ワークショップ、手作り品展示、大道芸など自由な発想でご参加ください ●申込みは、8月1日(木)から9日(金)に来所で ●とちぎ女性センター(宇都宮市野沢町) ☎028-665-7706

●「ジュニア知事さん」作品募集

●もし、あなたが知事になったらどんなことをしてみたいですか。夢や希望を400字詰め原稿用紙1枚にまとめてください ●対象 小学4～6年生 ●応募締切 9月13日(金)消印有効 ●県広報課 ☎028-623-2158

催し

●県立なす風土記の丘資料館の「夏休み考古学教室」

●①縄文土器をつくろう 8月4日(日)・24日(土) ●土笛をつくろう 8月10日(土)・24日(土) ●対象 小・中学生 ●参加無料 ●定員 ①40名②30名(先着順) ●申込みは電話で ●同館(小川町) ☎0287-96-3366

●森と湖に親しむ旬間の催し

●①ダムの公開 ●①7月23日(火) 東荒川ダム(塩谷町) ●7月24日(水) 寺山ダム(矢板市) ●7月25日(木) 塩原ダム(塩原町) ●7月26日(金) 西荒川ダム(塩谷町) ※時間はいずれも午前10時～午後3時 ●②魚のつかみどり ●7月20日(土)午前10時～午後1時 ●場所 東荒川ダム親水公園 ●那珂川水系ダム管理事務所 ☎0287-43-5224

●県立衛生福祉大学校見学会

●7月23日(火)午後1時30分～ ●申込み 高校生は在学する学校へ、それ以外の方は同校へ ●同校(宇都宮市

●「フェスタinパルティ2002」参加者募集

●11月16日(土)・17日(日) ●ワークショップ、手作り品展示、大道芸など自由な発想でご参加ください ●申込みは、8月1日(木)から9日(金)に来所で ●とちぎ女性センター(宇都宮市野沢町) ☎028-665-7706

●「ジュニア知事さん」作品募集

●もし、あなたが知事になったらどんなことをしてみたいですか。夢や希望を400字詰め原稿用紙1枚にまとめてください ●対象 小学4～6年生 ●応募締切 9月13日(金)消印有効 ●県広報課 ☎028-623-2158

催し

●県立なす風土記の丘資料館の「夏休み考古学教室」

●①縄文土器をつくろう 8月4日(日)・24日(土) ●土笛をつくろう 8月10日(土)・24日(土) ●対象 小・中学生 ●参加無料 ●定員 ①40名②30名(先着順) ●申込みは電話で ●同館(小川町) ☎0287-96-3366

●森と湖に親しむ旬間の催し

●①ダムの公開 ●①7月23日(火) 東荒川ダム(塩谷町) ●7月24日(水) 寺山ダム(矢板市) ●7月25日(木) 塩原ダム(塩原町) ●7月26日(金) 西荒川ダム(塩谷町) ※時間はいずれも午前10時～午後3時 ●②魚のつかみどり ●7月20日(土)午前10時～午後1時 ●場所 東荒川ダム親水公園 ●那珂川水系ダム管理事務所 ☎0287-43-5224

●県立衛生福祉大学校見学会

●7月23日(火)午後1時30分～ ●申込み 高校生は在学する学校へ、それ以外の方は同校へ ●同校(宇都宮市

●「フェスタinパルティ2002」参加者募集

●11月16日(土)・17日(日) ●ワークショップ、手作り品展示、大道芸など自由な発想でご参加ください ●申込みは、8月1日(木)から9日(金)に来所で ●とちぎ女性センター(宇都宮市野沢町) ☎028-665-7706

●「ジュニア知事さん」作品募集

●もし、あなたが知事になったらどんなことをしてみたいですか。夢や希望を400字詰め原稿用紙1枚にまとめてください ●対象 小学4～6年生 ●応募締切 9月13日(金)消印有効 ●県広報課 ☎028-623-2158

試験・講座

●中学校卒業程度認定試験

●試験日 11月5日(火) ●対象 就学義務猶予者、免除者であった方ほか ●願書受付 8月1日(木)～9月2日(月) ●県義務教育課 ☎028-623-3386

●屋外広告物講習会

●8月30日(金)午前9時～午後5時 ●会場 大晃(宇都宮市) ●受講料 3,600円 ●定員 460名(先着順) ●申込期間 7月29日(月)～8月2日(金) ●申込は、各土木事務所へ ●県都市計画課 ☎028-623-2463

●マロニエサテライトセミナー

●8月31日(土)午後1時30分～ ●会場 栃木市文化会館 ●講演 「サッカーを通じた国際理解」松木安太郎さん(サッカー解説者) ●受講無料 ●申込み 8月5日(月)までに往復ハガキで(必着) ●(財)とちぎ生涯学習文化財団(宇都宮市本町1-8) ☎028-643-1006

information とちぎテレビ
県の広報番組
 とちぎ情報局 7月21日 高原の風は芸術の薫り～那須高原作家協会～
 ●毎週日曜日 9:00～9:45 28日 とちぎの伝説～伝えたいふるさとの話～
 ●(再)月曜日 22:00～22:45 8月4日 懐かしさと温もりで包まれて～再利用木造校舎～
 11日 戦争体験～語りつく女性たち～

クローズアップとちぎ 7月20日 開園1年! なかがわ水遊園 非行防止に向けて～少年指導委員～
 ●毎週土曜日 9:00～9:30 27日
 ●(再)月曜日 8月3日 介護予防と生活支援
 22:00～22:30 10日 経済活性化への取り組み
県政アワー 7月21日 県民の日イベントリポート
 ●毎週日曜日 18:05～18:30 28日 愛のおくりもの～献血～
 ●(再)月曜日 12:10～12:35 8月4日 Jr.知事さん他
 11日 とちぎの公開～夏編～
 ※高校野球栃木大会期間中は放送時間が一部変更となります

「知事にアクセス」はインターネットでも受け付けていますので、ご利用下さい。
 県のホームページアドレス <http://www.pref.tochigi.jp/>

のりしろ

献血に行こう!
 夏季は、夏休みや暑さのため献血される方が少なく、輸血用の血液が不足します。
 400ml献血、成分献血にぜひご協力ください。
献血はあなたの愛の贈り物

のりしろ

宇都宮市オリオン通りの血液ルームは、休日でもご利用いただけます(毎日午前10時～午後6時)

●献血功労者表彰式とオカリナコンサートを行います
 日 時 7月31日(水)午後2時～
 会 場 とちぎ福祉プラザ(宇都宮市若草)どなたでも入場いただけます
 ◇問合せ 県業務課 ☎028-623-3119

7月は、「愛の血液助け合い運動」月間です

のりしろ

料金受取人払
 宇都宮中央局 承 認
 606
 差出有効期間 平成15年3月31日まで

切手をはらずに
 お出しください

宇都宮市塙田一丁目一番二〇号
栃木県知事
福田昭夫 行

3 2 0 8 7 9 0
 0 0 1